



●身近な話題をお知らせください！ 市長室 ☎53・1111 内線 325

未来へ羽ばたく2つのアーチ

こうのとりの大橋が開通

上竹原と水取を結ぶ「こうのとりの大橋」。3月10日、開通式が行われ、約170人が渡り初めをするなど待ち望んだ橋の開通を祝いました。全長345m、多田川、北川、江古川にまたがるアーチ橋は、平成6年度から県が整備を進めてきたもので、名称は応募のあった200件の中から「こうのとりの大橋」が選ばれました。



今年も豊作間違いなし

加茂神社 オイケモノ

3月5日、「オイケモノ」が加茂神社（加茂区）で営まれました。前年に埋めた木箱（ドングリやシイなど7種類の種物を入れる）を取り出し、それらの芽立ち具合で五穀の豊凶を占うもので、「今年も豊作間違いなし」と判定されました。



全線開通が待たれます

生守～谷田部が開通

2月25日、今富大橋を含む広域農道「若狭西街道」の生守～谷田部間1.75kmが完成し、開通式が行われました。同街道は、上野から高浜町馬居寺までを結ぶ全長22.8kmの広域農道で、県では2009年春の全区間供用を目指しています。

楽しみながら記録に挑戦！

チャレンジランキング

西津地区子ども会主催のチャレンジランキングが3月11日、西津小学校で行われました。参加した約100人は、「豆つまみ皿うつし（写真）」「空き缶積み」「ぞうきんがけ20分走」「紙ちぎりのぼし」の4種目で記録に挑戦しました。



遠敷川に香水を注ぐ送水神事
(鵜の瀬)



お神酒と土を混ぜ合わせたものをパイの先に付け、柱に「山」と「八」の字を書く山八神事
(八幡神社・下根来区)

水と炎が織り成す神事

お水送り

若狭に春の訪れを告げる「お水送り」が3月2日、神宮寺と鵜の瀬周辺で営まれました。

一連の神事は、八幡神社（下根来）での「山八神事」で始まり、神宮寺での「修二会」「弓打ち神事」「達陀」「大護摩」と続きます。19時半過ぎ、大護摩からたいまつに火が移されると、ホラ貝を吹き鳴らす山伏を先頭にたいまつ行列が神宮寺を出発。1.8km先の鵜の瀬まで幻想的な光の帯が続きました。

鵜の瀬へ到着するといよいよクライマックスの送水神事。神宮寺の山河住職が送水文を読み上げ、竹筒に入った香水を遠敷川に注ぎました。



赤装束の僧が大たいまつを振り回す達陀
(神宮寺)